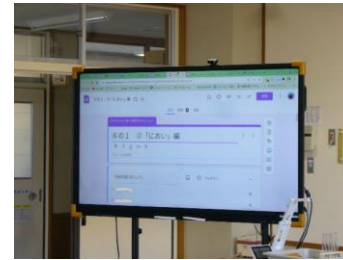


## 【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

## ～水よう液区別の予想と実験～

川西小学校6年生 理科

I. 「5種類の水よう液を、どうすれば区別することができるか」を課題として、タブレット端末を活用。「におい、見た目、蒸発」等の区別要素の予想や自信度をGoogleフォームで入力、Class roomで共有。友達の見方や考え方を参照し、新しい気付きを生み出す。



II. 実験道具の使用方法も、持ち方やポイント写真を写真と文字で解説し、授業進捗に取り残されないよう工夫する。子どもたちの実験に併せて、教諭の実験動画や友達の実験の様子を共有することで、工夫や気付きを発見することに繋がるように図った。

III. 実験結果をスプレッドシートに記録し、成果を積み上げる。友達の結果と照らし合わせ、疑問点を確認・相談し合う。実験グループごとに進め方や考え方の色が出て、個性のある結果が生まれた。「この実験だけでは区別できない水よう液があった。さらに区別する方法はないか」という子どもの振り返り・興味に繋がっていた。

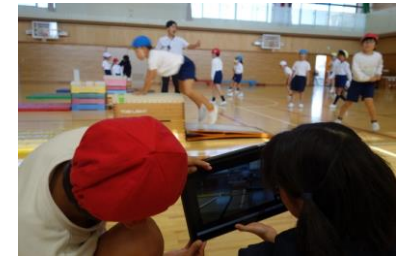


## 【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

## ～跳び箱における体の動き・フォームの確認～

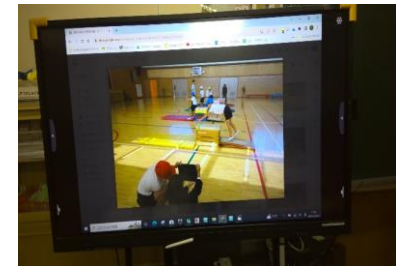
川西小学校2年生 体育

I. 跳び箱運動を行う際、自身の体がどのように動いているのか、また上手に跳躍するためにはどんなフォームが必要かを学びたい児童の声から、タブレットの写真・動画撮影機能を使い、友達と互いに撮影を行いデータを記録する。鮮明に撮影する機器の扱いの学習にも繋がった。



II. 撮影した写真・動画の撮影データをその場で確認し、撮影ができていないかをチェック。撮影データを見て、跳躍の場面ごとのフォームや、踏切板を踏み切る場所や手を付く位置、開脚の大きさや着地時の姿勢などを、繰り返し動画を早戻し・早送りしながら確認後反復練習へと繋がっていた。

III. 別時間に教室の電子黒板を用いて、撮影したデータを共有することで、跳躍が苦手な児童が他者の体の動きをしっかりと確認する時間を取る。また、得意な児童からコツを共有して他者参照に繋げることができた。データをClassroomに共有し、好きな時に動画をチェックできるようにすることで学習機会の提供、意欲醸成に繋がった。



## 【取組内容②】 「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

## ～Googleサイト・jamboardを用いた食料自給率の学習～ 川西小学校5年生 社会

I. 社会の時間を利用し、食料自給率の学習を行った。自分たちが普段から口にする料理は、どこかの産地のどんな食材を利用して作られているのかを学ぶため、支援員のサポートのもとGoogleサイトを地域に密着した教材として作成し、画像や動画を使いながらわかりやすく学習できた。



II. 農林水産省のHPの自給率計算サイトを利用し、自分の好きな料理を選び、自給率を調べる。メニューは何にするか、食材の産地はどこか、インターネットも駆使しながら調べ学習を行う。また共有事例として、「餃子」を使ってそれぞれの考えをクラウド上で共有し、友達の意見を参考に理解を深める。

III. 各自で選んだ料理と自給率を、jamboardで共有することで、友達が調べた様々な料理の自給率を一度に確認することができ、自身が情報を公開するためのソースの重要性も認識できた。また、それぞれが自発的に、端末を使って調べたり、他の生徒と協働したり、教員にアドバイスを求めたりと複線的に学ぶことができた。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

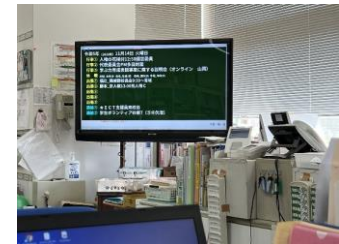
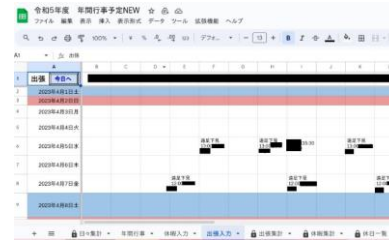
川西町立川西小学校（奈良県）

## 【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

## ～Googleworkspaceを活用した教職員の業務効率化～

川西小学校 教職員

I. 校務全般で、基本的にはGoogleworkspaceを活用した校務運営が根付いている。教員の動態表や年間行事、休暇、出張、会議予定はすべてスプレッドシート上で管理し、モニターで共有することで直感的に学校の動きを把握できる。教員も手軽に入力でき、業務効率化できている。



II. 日常的にフォームを活用できている。労力を割かれていた児童アンケートや教員の意向調査、情報共有はフォームで作成・共有が基本とできている。児童もフォーム利用が当たり前と認識できており、教員が児童に割かれる時間も減少し、児童も自らフォームを使いこなす相乗効果も生まれる。

III. スライドを用いて資料を共有することで、クラウド上で気軽に業務に入れており業務時間効率が上昇している。また、朝会や集会などの行事をGoogleMeetでオンライン配信も利用することで、ハイブリッド型の参加が可能となり、現地参加できない児童・教員も参加できる。

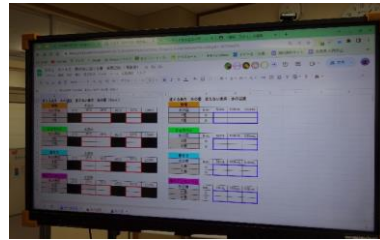
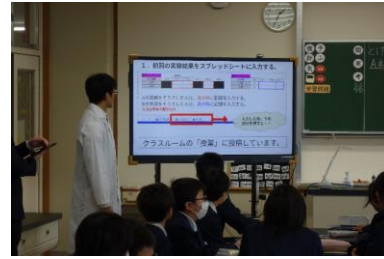


## 【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

## ～ものどけ方～

川西小学校5年生 理科

I. 物の溶ける量や時間に着目し、条件を制御しながら調べ、観察・実験を行う学習を行う中で、ICTを活用することで更に理解を深めることを目的とする。予め入力用スプレッドシートを作成しておき、実験結果を入力することで自動でグラフ化するようにし、考察の時間確保ができる。



II. 自分のグループ以外に実験結果を聞く場面を設定することで、児童は考察を深めるために必要な情報集めて回り、気づきを周りに伝えるためにチャットを使う。チャットを使い、情報を収集・投稿することで、後日見返すことも可能となり、学習の振り返り意欲を向上させることができる。

III. 授業の振り返りもフォームで入力し、スプレッドシートにリンクさせることで、リアルタイムに児童も教員も内容を確認できる。その授業で何を学び、どんなことに疑問をもったのか、課題を発見することもできる。この利便性、互換性は、Googleworkspaceの利点と言える。

